



主な取組①

プログラミング学習支援システム「AOJ」で情報教育格差の解消を目指す

情報システム学部門の渡部有隆上級准教授が開発・保守運用を手掛けるAizu Online Judgeシステム（AOJ）は、学習者が作成したプログラムをオンライン上で即座に自動採点するシステム。問題文や解説の英語化が進んでおり、中高大・一般の学習者のべ約13万人が国内外から利用しています。本学ではこのシステムを活用して、浜通り地域での高校生へのプログラミング教育、県内高校の「情報」科目のカリキュラム作成・授業支援、リカレント教育の一貫である「女性のためのITキャリアアップ塾」事業などを実施、ICT分野において幅広く「質の高い教育」に貢献しています。

【関連URL】<https://u-aizu.ac.jp/information/aoj.html>



主な取組②

開発途上国の若者・女性の ICTスタートアップ人材育成を支援



本学では福島県と連携し、2021年度JICAの草の根技術協力事業の採択を受けて、チュニジアのICT専門大学においてICT分野でスタートアップ（起業）を狙う若者や女性を支援する事業を行っています。

この取組を通じ、途上国の持続可能な社会の発展に寄与するほか、大学としての国際貢献力や国際発信力を高めていきます。あわせて、海外での事業のノウハウ・成果を持ち帰り、地域の国際化や起業を志す若者・女性への支援を推進するなど、事業の経験や成果を地域に還元していきます。

【関連URL】<https://sway.office.com/fE8if3Ny0bXavnJD?ref=Link>



会員と連携可能な強み

AI、IoT、ブロックチェーン、メタバース等の先進的なICTテクノロジーは、様々な領域において持続可能な社会の構築に貢献できることから、異業種との連携を深め、SDGsの多くの目標の実現に取り組みたいです。

